地域県土警察常任委員会資料

（令和７年７月２２日）

〔　件　名　〕

■　「伸びのびトーク in 伯耆町」の開催結果について
【県民課】・・・　２ページ
■　東京 2025 デフリンピック大韓民国代表選手団キャンプ受入れ等について
【スポーツ課】・・・　３ページ
■　県内文化財の新規国登録について
【文化財課】・・・　４ページ

地域社会振興部

「伸びのびトーク in 伯耆町」の開催結果について

令和７年７月２２日
県　　民　　課

県民の皆様（住民・ＮＰＯ法人・経済団体・地域活性化等に取り組む団体等）と行政関係者等が、その地域が直面する課題などについて意見交換を行う「伸びのびトーク」を伯耆町で開催しました。

１　日　時　令和７年７月１１日（金）　午前１０時から１１時３０分まで

２　場　所　みぞくちテラソ　ルーム３（西伯郡伯耆町溝口 647 番地）

３　参加者（13 人）　（社福）伯耆町社会福祉協議会　会長　谷口仁志氏、みぞくちテラソ支配人　仲村玲子氏、みぞくちテラソ会員　中田貴子氏、岩田純子氏、小飼和代氏、小谷勢津子氏、伯耆町長、企画課長、地域活性化起業人、知事、地域社会振興部長、福祉保健部長、西部総合事務所長

４　意見交換のテーマ　「過疎地域における高齢者の生きがい対策、健康増進、公共施設の有効活用」

５　主な意見等

（伯耆町社会福祉協議会）

・みぞくちテラソは、伯耆町溝口分庁舎に平成元年の９月にオープン。旧岸本・溝口町の合併後、１４年間使われていなかった４、５階を有効活用した。
・運動スペースに加え、６５歳以上限定の軽作業を行う仕事スペース、１５歳以上の会員が利用できるカラオケルーム、年齢を問わず誰でも利用できるセルフカフェを備え、町民の健康増進やフレイル予防、コミュニティの拠点となっている。
・今後は、男性の利用者を増やす取組を行いたいと考えている。

（みぞくちテラソ会員）

・みぞくちテラソは、ふらっと行けてトレーニングやカラオケが楽しめる。トレーニングが上手にできなくても、スタッフの方が褒めてくれて自己肯定感も上がる。他の利用者との新たな出会いがある。
・自分より年上の利用者を見ていると、楽しんで活動されていることが伝わってくる。自分も将来こうありたいと思えて励みになっている。
・自宅で高齢の夫を介護している。自分も高齢者なので倒れてはいけないとの思いで身体づくりに励んでいる。トレーニングの甲斐があって、趣味のコーラスでは立って歌えるようにもなった。施設やスタッフの方には本当に感謝している。
・今は自家用車で通っているが、大雪のときや免許返納後のことを考えると、交通手段の支援があるとありがたい。
・県で副知事や西部総合事務所長に女性が登用されたことが嬉しい。女性活躍の一つの形を県が作られたことに感激している。

〔知事発言〕

・新しいリーダーの小澤町長の下、工夫をすればもっと住みやすく長生きできる楽しい町になるということだと思う。アイデアをしっかりと受け止めて県も一緒にやっていきたい。
・伯耆町は全国や全県に比べて高齢化率は高いが要介護発生率が低い。伯耆町の取組はモデルとして全県にも広げていきたい。
・女性が感じているハンディキャップなどを掘り起こし、鳥取から女性も男性もそれぞれが活躍する楽しめる社会を作っていきたい。

東京 2025 デフリンピック大韓民国代表選手団キャンプ受入れ等について

令和７年７月２２日
ス　ポ　ー　ツ　課

７月 21 日から４日間、大韓民国代表のボウリング選手団が、日本代表との親善試合に向けてキャンプを行うとともに、８月 20 日から５日間、デフリンピック全国キャラバンが機運醸成のため県内市町村を巡回するので、概要を報告する。

１　ボウリング選手団キャンプ受入れ

（１）期　間　令和７年７月 21 日（月）～24 日（木）
（２）会　場　鳥取スターボウル（鳥取市）
（３）規　模　14 名（選手８名、監督・コーチ等６名）
（４）日　程　７月 21 日（月・祝）米子空港着→鳥取市へ移動
　　７月 22 日（火）　強化練習、代表選手と鳥取聾学校の生徒等とのボウリング交流
　　県競技団体等との歓迎レセプション
　　７月 23 日（水）　強化練習
　　７月 24 日（木）　東京へ移動
　　※25 日（金）以降、日本代表チームと合同練習及び親善試合（東京都内）

２　デフリンピック全国キャラバン（予定）

全国ろうあ連盟関係者がキャラバンカーで 47 都道府県や市町村を巡回訪問し、各地で啓発イベントや開会式で上映する動画制作等を行い、手話言語やデフスポーツへの機運を醸成する。

・期　間：令和７年６月 15 日～11 月 14 日（全国巡回）
　東日本班（岩手県出発）、西日本班（大分県出発）の２班体制
＜県内巡回予定＞8/20～25（変更の可能性あり）　鳥取県内の全市町村
　20 日　広島県⇒日南町～西部管内
　21 日　琴浦町～中部管内
　22 日　中部管内～鳥取市～鳥取県庁
　23 日　デフリンピックイベント in とっとり開催
　（鳥取駅前バード・ハット：主催　鳥取県聴覚障害者協会）
　25 日　岩美町～東部管内～智頭町⇒岡山県へ

３　県内の今後の動き

・令和７年 11 月上旬（予定）　大韓民国柔道代表選手団キャンプ（米子市内）18 名参加予定
・令和７年 11 月 15～26 日　東京 2025 デフリンピック

【参考】

＜鳥取県ゆかりの東京 2025 デフリンピック代表内定選手＞　※７/22 時点

・ゴルフ競技　前島　博之（まえじま　ひろゆき）選手（鳥取市）
・ハンドボール競技　小林　優太（こばやし　ゆうた）　選手（米子市出身）
・陸上競技　佐々木　昴（ささき　すばる）　選手（伯耆町出身）
・ボウリング競技　中村　洋三（なかむら　ようぞう）選手（鳥取市出身）

＜東京 2025 デフリンピック概要＞　※第１回開催から 100 周年

・名　　称：第 25 回夏季デフリンピック競技大会 東京 2025
・大会期間：2025 年 11 月 15 日～26 日（12 日間）
・競技種目：21 競技
　（ゴルフ、ハンドボール、陸上競技、ボウリング、サッカー、バスケットボール、柔道など）
・開 催 地：東京都、福島県（サッカー）、静岡県（自転車）
・参 加 国：70～80 か国・地域
・参加者数：約 6,000 人（選手約 3,000 人、スタッフ約 3,000 人）

県内文化財の新規国登録について

令和７年７月２２日
文　化　財　課

令和７年７月１８日（金）に開催された国の文化審議会（会長 島谷弘幸（しまたにひろゆき）　独立行政法人国立文化財機構理事長）は、下記の建造物を国登録有形文化財（建造物）として登録するよう文部科学大臣に答申しました。

記

（１）文化財の名称

坂江家住宅店舗兼主屋（さかえけじゅうたくてんぽけんしゅおく）、土蔵（どぞう）　（米子市灘町１丁目６５）

（２） 文化財の特徴

文化財名	特徴等	建設年代等
坂江家住宅 店舗兼主屋、 土蔵	米子港の河口近くに位置する当家は、かつては油屋を営んでいた。間口が狭く、奥行きが深い敷地の南側に主屋、中庭を挟んで北側に土蔵が建つ。 店舗兼主屋は二階建で、東側に通り土間を配置し、土間に沿って正面からミセ、中の間、仏間、居間を並べる一列四室の形式をとる。中の間は上部を吹き抜けとし神棚を設ける。二階には座敷を配置し、一階の居間同様に浅い床を設ける。 土蔵は二階外部をなまこ壁とし、良材が用いられた土蔵である。 主屋と土蔵をあわせて米子城下の町家の様子を良く伝える。	主屋：安政６年（1859）/明治２４年・昭和中期改修 土蔵：明治５年

【位置・写真】

店舗兼主屋外観

２階の床間付きの座敷

土蔵外観

（３） 今回、国で答申が行われる建造物の概要

	今回答申分		累計
登　録　数	１３０件		１４，６３０件
時代別登録件数	江戸以前	３３件	２，６３１件
	明治	２９件	４，５６６件
	大正	１４件	２，９３５件
	昭和	５４件	４，４９８件

（４） 鳥取県の状況

①鳥取県の国登録文化財、国・県指定文化財総数（**今回登録後・未告示含む**）

国登録文化財	国指定・選定文化財	県指定・選定文化財
（２５７） ２６４	（１８） １２８	（２７）※ ３３７

（　）内は建造物の数

※「彫刻及び建造物」１件含む